

景気動向指数
平成 22 年 11 月分（速報）の概要

11月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：101.0、一致指数：102.1、遅行指数：87.3となった。（注）

先行指数は、前月と比較して3.3ポイント上昇し、5ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.40ポイント上昇し、3ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.17ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して1.4ポイント上昇し、3ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.37ポイント下降し、3ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.04ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して1.4ポイント下降し、7ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.03ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.50ポイント上昇し、11ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。

一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

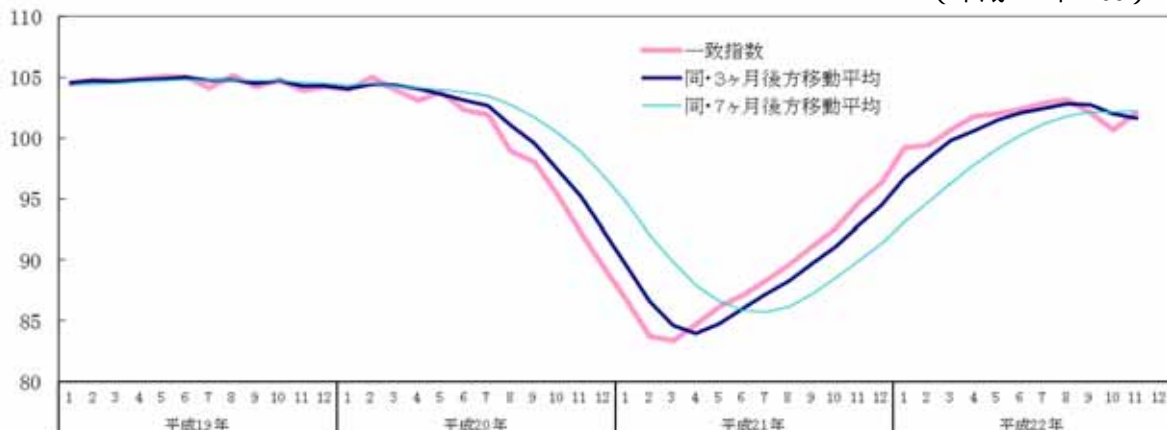
寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C10：中小企業売上高(製造業)	0.40	C3：大口電力使用量	-0.12
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.38	C5：所定外労働時間指数(製造業)	-0.02
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.31	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.00
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.17		
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.13		
C1：生産指数(鉱工業)	0.11		
C9：営業利益(全産業)	0.02	C4：稼働率指数(製造業)	-0.00

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移

（平成17年=100）



（注）未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。